



一般社団法人  
日本ヘルスケア歯科学会  
事務局 東京都文京区関口1-45-15-104  
☎ 03-5227-3716 Fax 03-3260-4906  
URL <https://www.healthcare.gr.jp>  
E-mail : center@healthcare.gr.jp  
編集代表 島野圭介  
編集制作 有限会社 秋 編集事務所

	年会費	入会金
歯科医師	12,000円	5,000円
スタッフ/その他	3,000円	3,000円

郵便振替口座 00190-7-407895  
名義 一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会  
銀行振込口座 三菱UFJ銀行 江戸川橋支店  
普 0051809  
名義 一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会



## CONTENTS

巻頭 学会というもののあり方を考える	p.1	歯科用語、イッパツで変換できていますか?/1D 関連情報	p.13
書評	p.3	各種案内 大阪ワンデーセミナー 2024 / Web セミナー / コミュニケーションセミナー 2024 実践編	p.14
日本歯科医学会認定分科会登録拒否を受けて	p.4	復活!! The HyG Times / 事務局から / 訂正とお詫び	p.15
ニュースレター編集代表就任のご挨拶	p.5	ウェビナー報告	p.16
Healthcare bibliography / 事務局から	p.5	オンラインサロン紹介	p.19
HDP を深掘りしてみよう座談会 2	p.6	ヘルスケア・フォーラム	p.20
告知板	p.9	ウェビナー告知板	p.22
フォーラム【ヘルスケアと赤ちゃん歯科】16	p.10	マー君の enjoy my life / オビオメンバー会議案内 / 認証ミーティング案内	p.23
Do プロジェクト 拡大調査 1	p.11	ヘルスケアミーティング 2024 案内	p.24
Vimeo 案内	p.11, 19		
ヘルスケア歯科診療について藤木が伝えたいこと 2024	p.12		

## 催しものご案内

- ① ヘルスケア Web セミナー  
日時：2024年7月17日, 8月21日  
内容：コミュニケーションセミナー  
プレミーティング in オンライン
- ② 新オンラインサロン  
日時：2024年8月20日(火)  
2024年9月10日(火)  
2024年10月8日(火)
- ③ 大阪ワンデーセミナー 2024  
日時：2024年9月1日(日)  
場所：大阪歯科大学 創立100周年記念会館
- ④ コミュニケーションセミナー 2024 実践編  
日時：2024年9月23日(月祝)  
場所：川口フレンディア
- ⑤ ヘルスケアミーティング 2024  
日時：2024年10月13-14日(日・月祝)  
場所：一橋大学一橋講堂 一部 Zoom

## 重要なお案内

- 以下の同封物をご確認ください
1. 会員用ホームページパスワード変更のお知らせ
  2. 口座振替のご案内  
振替登録されていない方対象
  3. 大阪ワンデーセミナー 2024 案内
  4. コミュニケーションセミナー 2024 案内
  5. HCM2024 案内



## 学会というもののあり方を考える

秋元秀俊 (日本ヘルスケア歯科学会事務局長)

## 「削ってかぶせる」歯科医学会からの決別

日本歯科医学会に対する認定分科会登録申請を「否」とされた機会に、あらためて歯科医学会というもののあり方を考えます。

歯科医学会の問題を考えるにあたって、まず日本ヘルスケア歯科研究会（以下、研究会）発足当時を振り返ります。当時は、歯科医師会にせよ歯科医学会にせよ、「ドリル・フィル・ビル（削ってかぶせて請求する）」の歯科医療体系を作り支えている組織という認識でしたから、発足当時に集まったメンバーには、そこに仲間として認めてもらいたいという思いは露ほどもなかったはずで、むしろこの分野のそうした主流から決別するという考え方に共鳴した人たちの集まりだったと言っていいでしょう。これ

は、若い方には極端な考え方のように思われるでしょうが、一例として「予防歯科」ということを考えてみてください。

本来の予防歯科は、一次予防と言って水道水フッ素化のように不特定多数の人を対象に（フィールドで）行うもので、診療室でするのは二次予防いわば重症化予防であるというのが歯科医学会の共通認識です。これは今も変わりません。

さらに例を挙げると、ウイステリアでは個人のう蝕経験歯数を略号としてDMFで表すことにしました。う蝕の経験こそが、その人のう蝕リスクをもっともよく表しますから、リスクマネジメント＝う蝕治療では、DMFは重要な情報です。しかし、これは歯科医学では常識外れです。DMFTは本来、集団の

う蝕経験の指標ですので、個人について用いることは誤用であると厳しくお叱りを受けます。DMFTは、あくまでも平均値です。正規分布から程遠い集団の平均値を論じるのは統計学的には誤りですが、これが歯科医学の常識です。

### 医学一元論的な歯科医療との「別れ」

もうひとつ、う蝕治療を例にとりましょう。当時の病因論は、今日の生態学的プラーク説ではなく特異的プラーク仮説だったわけですが、研究会ではリスクアセスメントによって動機づけし、その環境因子（頻繁なショ糖摂取、プラークの蓄積など）を排除して、フッ化物を応用することをう蝕治療として広めました。主流の歯科医療では、一次予防はフィールドですべきこととし、診療室ではどのように感染象牙質を取るか、修復するかという窩の修復・補綴に傾注すべきだとされていました。話を単純化するなら、学問としての歯科医療は、医学から独立する歯科医学のアイデンティティを修復・補綴・矯正に求めているのです。これに対して、研究会は病因論に基づく医学一元論的な歯科医療を提起したと言えます。その後、創立の中核メンバーだった熊谷 崇氏が離脱して、この特徴は残されたメンバーの間ではやや曖昧になるのですが、熊谷氏自身は「メディカルトリートメントモデル」や「オーラルフィジシャン」というキャッチフレーズで医学一元論的な歯科医療を強調しています。

### う蝕有病率の低下と欠損の減少、高齢化と疾病構造の変化

この時代、急速な高齢化に伴って、疾病構造が慢性疾患中心に大きく変化していましたが、歯科関連の状況としては、急速なう蝕有病率の低下と欠損の減少が進みました。その最大の要因は、フッ化物配合歯磨材の普及とともに歯周治療の普及、そして歯科医師・歯科衛生士の数の増加が決定的だったと思われる。

研究会では「フッ化物専門家意識調査」に始まり「禁煙宣言」「全国 DMFT 調査（地図）」「服薬調査」「禁煙支援実態調査」と立て続けに対外的にインパクトのある活動を展開していましたが、保険行政がEBPM（根拠に基づく政策決定）にシフトしつつあることを踏まえ、2006年5月に「禁煙支援の保険導入に伴う歯科医院における禁煙支援の実態調査」、7月に医療技術評価提案書（カリエスリスクコントロール療法）の提出、2007年に歯科衛生士法の改正を求める署名を行い厚生労働大臣に陳情しました。歯科衛生士法の改正は、診療補助業務の明確化を求めたものであり、医療技術評価提案書の提出は、日本歯科医学会のすべての専門分科会に2年余り先んじたものでした。

東京都が受理した本会の医療技術評価提案書を中央社会保険医療協議会の手前で握りつぶした当時の歯科小委員長は、筆者の問いかけに対して「医科ではもっと高度な検査が次々出されている、こんなみっともないもの」と仰いました。

### 「ドリル・フィル」から「治療・管理・連携型」へ

こうして2011年2月に法人格を得て学会を設立した後（同年8月）、本学会は日本歯科医学会に対して認定分科会の登録申請をしました。

研究会設立当時から考えると大きな方針転換をしたわけですが、疾病構造の変化に伴って国の医療政策が根本的に変わってきたことが背景にあります。つまり急性期中心の医療提供体制から慢性期・回復期、さらに介護まで連携する生活型の医療モデルに、構造転換が起こったのです（厚労省の長谷川敏彦氏は「ヘルスセクターリフォーム」を提唱）。ちなみに、2012年の歯科診療報酬改定に際して、「治療中心型から治療・管理・連携型へ」という、今ではよく知られるようになった政策転換のスキームが登場しました。

学会はともかく、行政は「ドリル・フィル」から転換し、ヘルスケア診療を強く後押しする方向に舵を切りました。これと歩調を合わせて本学会は、政策提案が可能な団体となるべく日本歯科医学会の登録申請に至ったのです。

### 歯科医学会の登録承認基準の破綻

この認定分科会登録申請は2012年に「否」とされましたが、その理由として挙げられたのは「機関誌に原著5編」というハードルとともに研究分野の独自性（「歯科医学の発展に寄与する独自の研究分野、複数の領域にまたがる複合的な研究分野および社会的要請の強い研究分野などを含む、専門学会」）に関する承認要件を欠くというものでした。その後、「原著5編」を諦めかけたのですが、その間の事情は高橋さんの記事（4ページ）に譲ります。そして12年後の今年、再度の登録申請を却下されたわけですが、その理由も、実は同じでした。「原著5編」ルールについては、既存学会がどこもクリアできていないために幾分緩和され、本会の努力もあってハードルをクリアしました。しかし、研究分野の独自性については、承認基準を欠くとされたのです。

この承認基準の文章について、木で鼻をくくったような回答だと本会関係者は憤慨しました。しかし、よく読むと、この承認基準の文章は、二つの部分から成り立っていることが分かります。前半は、文頭に「医学から独立した」と補うと理解しやすいでしょう。文意が破綻しているのは、その後半に文部科学省学術審議会が求める「学際研究」と「社会的要請の強い研究」を単純に接ぎ木したためです。

「（医学から独立した）歯科医学の…独自の研究分野」に歯科医学会としての存立意義を求めることと、学問の目的を強調する「学際研究」や「社会的要請（に答える）研究」は両立しません。日本歯科医学会そのものが、学問の目的をあやふやにしたまま歯科の学問的独自性を守ることに汲々とし、社会性を失っているのです。

## 学会はピアレビューの場

紙幅に限りがありますので、原理原則を書いて終わりにします。医師（歯科医師）が患者の身体を傷つける行為は、たとえ世俗においては罪であっても、それがプロフェッションの規範に則った行為であれば、違法性は阻却されます。このプロフェッションの規範は、ピアレビュー（同僚による評価）によって形成されますが、そのピアレビューの場が医学の学会なのです。その学問の目的は、傷病の救済です。医学の学会は、医師が世俗の規範ではなく、プロフェッションとして自律的な規範をもつためにあるのです。

わが国最初の日本医学会の開催予告（明治22年）に対して、『醫事新聞』（主筆・田代義徳）は、學術集会ではなくお祭りだと批判し、それに立場上反論した森鷗外（『東京醫事新誌』主筆）も「諸名家の學術的演述」の会になっていると同調し主筆

の座を追われますが、彼等は学会にピアレビューの場を求めたのです（拙著『歯医者は医者かと問う勿れ』生活の医療社をご参照ください）。

本学会がピアレビューの場になっていないとすれば、本学会には学術的なコミュニティの一員となる資格はないでしょう。開業歯科医でありながら傷病の救済にかかわる日常診療の疑問を研究のモチベーションとしていない、各々の日常診療の記録を蓄積して研究材料としていない、それを研究に結びつける志向をもっていない、そうであればピアレビューどころではありません。

これができていないなら、学術的なコミュニティの一員となる資格はないとする指摘を、私たちは甘受しなければならないでしょう。



## 書評

### 歯医者は医者かと問う勿れ

著；秋元秀俊  
出版；生活の医療社刊  
2024年3月  
四六判 280ページ  
定価；2,970円（税込）

当学会の事務局長、秋元秀俊さん（秋編集事務所）の新刊「歯医者は医者かと問う勿れ」が出版されました。

帯には「なぜ、歯医者は、歯科医師であって医師ではないのか？ 歯科医学は医学ではないとでもいうのか？」との文字が書かれており、若い現代の歯科医療従事者が疑問にも思わなくなってしまう問が載せられており、ハッとさせられます。

内容は、佐藤運雄<sup>かずお</sup>先生の伝記のかたちをとっており、今まで明治時代からの近代歯科の歴史について知る機会がなかつ

たので、とても興味深く読み進めていくことができました。読んでいくなか、様々な先人が登場しますが、当時の先生方の歯科に対する情熱と時代を切り開いていく姿勢には尊敬を超えて畏敬の念すら覚えました。

話の中心である佐藤先生は21歳で海路しかない明治時代に渡米しアメリカでDDSの学位を取得、その後シカゴ大学の医科に編入してMDの資格を取得して日本に帰る、年齢24歳で留学とダブルライセンス持ちの現代では考えられない傑物であります。

また、東京歯科大学の学祖血脇守之助先生のこともこの書籍にて初めて知った次第で、多くの偉大なる先人がこの時代にはいたことを知りました。

話の主題は冒頭にも書いた、歯科がいかにして医科から分離されたかについての「医科と歯科の一元論と二元論」で、現代の歯科医療界の方向性を決める議論が明治時代に己の信念を削り合い、議論がなされていた様子が描かれています。

結果、佐藤先生の目指した一元論は破れたが、先生の考え方は二元論が業でも学でも当然の様になった現代でも知っておくべきだと考えさせられました。



医科歯科連携が話題にあがり、診療報酬改訂でも関連の点数がつかなくなか、二元論の着地点というべき医科歯科連携と、そもそも歯科は医科の1分野であるという一元論について書かれている書籍を、秋元さんがこのタイミングで出されたのには、現代の歯科にかかわる人へ佐藤先生の言葉を借りて言いたいことがあったんだろうなあと推察します。

会員のみならずにも、一度は読んでいただきたい一冊です。

（西村 誠 泉大津市開業）



## 日本歯科医学会認定分科会登録拒否を受けて



高橋 啓（日本ヘルスケア歯科学会 代表）

### これまでの経緯

日本ヘルスケア歯科学会（以下、当学会）は、一度2012年に日本歯科医学会認定分科会に登録申請して否決されています。その時の否決の理由（改善点）は、

- ・専門性、独自性の高い学会活動の更なる展開
- ・機関誌の原著論文数の増加

でした。当学会は、会員の多くが日常臨床をしながらの活動なので、原著論文を毎年5編以上掲載することは、なかなか高いハードルです。そのようなとき、2019年の徳島ワンデーセミナーを徳島大学で開催した際に、たまたま参加して下さった日本歯科医学会理事の方から「君たちは、とてもいい活動をしているので、厚労省も認める日本歯科医学会認定分科会に入って、さらに活動の幅を広げてはどうか」と勧めていただきました。それをきっかけに検討を始めて、申請準備に入りました。

専門性、独自性の高い学会活動としては、日本に具体的に紹介したICDASが、健康保険の初期う蝕の資料として採用されるなど、着実に成果は出ていたと思います。また、原著論文も5編以上を確保し、クリアしていきました。

ただこれは簡単なことではなく、4年の月日を要し、さらには、当時推薦してくれた方がほかにもいましたが、申請時には皆退任され、その間に申請のルールや条件も変更されていきました。そのようななかでも、前回の指摘事項を整備して申請しました。結果は否決となり、その理由は、前回ニュースレターに掲載された通りです。

### 結果を受けて

日本歯科医学会認定分科会に入ること、当学会として今後の活動の幅や選択肢が広がるのではないかと考えていたので、大きく活動内容を変えることはないと考えています。今回の申請のコンセプトとしては、現状の活動を尊重しながら、できることを整備したかたちになります。それゆえ当面の再申請は考えておりません。ただ、未来の会員が将来的に再度申請を考える機会を閉ざすつもりもありません。今後も学会内の整備には努めていきます。もし、未来に認定分科会申請を考えるならば、今より学会の体制を日本歯科医学会の考える学会のフォーマットに変える必要性があります。

### 今後について

この否決を経験して感じたこと、考えたことをみなさんと共有しておきたいと思います。日本歯科医学会の役員の方々には、

当学会の活動が理解されなかったという現実があります。しかし、全員が否定したわけではなく、当然理解して応援して下さる方もいます。そんななかで今後何ができるか？ を考えてみました。

#### ① ヘルスケア診療を、より一般の方に評価してもらう。

みなさんご存知の通り、認証診療所になる際は、患者さんや外部審査員の評価も受けて認証を取得します。これは当学会独自の特徴です。この特徴を活かし、歯科関係者以外から、評価を受ける取り組みをしてはどうかと思いました。一般の方からの意見を真摯に聞くこともよい取り組みではないでしょうか。交流するという意味でも、新たな化学反応が起こせるのではないかと考えました。自由な立場だからこそ、できる活動です。

#### ② ヘルスケア診療を国際的に評価してもらう。

日本は、北欧やアメリカの歯科臨床を有り難がる傾向があります。今のヘルスケア診療は、国際的に見てどうなのでしょう。すぐ活動を始めることは難しいですが、国際的な活動をするための人材育成をより進めていってほしいと思います。すでに杉山精一さんのORCA参加活動といった素地があります。学会として、可能性を広げていくことは、有効かと思っています。

#### ③ 自由であること

認定分科会に入る準備をしていて、得るものもあるかもしれないが、いろんな制約を受け、自由さは失われる部分があると感じていました。否決の結果を受けて、最初に浮かんだ言葉は、「ヘルスケアは、自由だ！」でした。自由が良いことか？ 悪いことか？ は、我々の行動にかかる部分が多いと思います。ならば、いい方向へのきっかけとしたいです。

### 良いきっかけにしたい

私の意見がすべてではありません。この学会は皆で考えて、前に進んでいく組織です。みなさんはどう思いますか？ 自分はこう思う、ということもあるでしょう。

今は、みなさんが活動を始める場所が多岐にわたります（分からない方は、高橋までメールをください）。せっかくの一区切りなので、これを良いきっかけにして、ヘルスケアの明るい未来を作っていきましょう。





## ニュースレター編集代表就任のご挨拶

島野圭介（練馬区開業）

2024年（令和6年）5月1日より林 浩司さんから編集代表を引継ぎ、vol.27 no.3 から担当します、東京都練馬区開業の島野圭介です。

みなさまにとってより有益でより楽しめる素敵なニュースレターにしていけるよう、諸先輩方にご指導いただきながら業務に邁進していく所存です。どうぞよろしくお願ひいたします。

まだまだ若輩者でございますので、みなさまのお力添えをいただきたいと思ひます。原稿執筆をご依頼させていただくこともあるかと思ひます。その際にはご快諾いただけましたら幸いです。

### 【学会内での活動】

オピニオンメンバー・企画育成委員会・認証支援委員会・頒布品プロジェクト・EBM フォーラム・ウイステリア検証フォーラム・オンラインサロン運営・実践セミナーサポートメンバー 等  
東京ヘルスケアグループ・K-wave に参加

# Healthcare bibliography

ヘルスケア歯科学会会員の  
執筆掲載雑誌・書籍を報告！

報告：大井孝友

## 雑誌掲載

### デンタルエックス線撮影の勘所

高橋 啓, 滝沢江太郎 他  
日本歯科医師会雑誌 4月号 p.39-46

### ゼロからわかる むし歯の予防&治療

伊藤 中他  
File 11 シニアに多い「歯の根面のむし歯」  
nico 5月号 p.22-25 クインテッセンス出版  
最終回 統計で見るむし歯のなりやすさ  
nico 6月号 p.23-26 クインテッセンス出版

### 「お気をつけて、ご来院を」～歯医者さんの受付日誌～

高橋 啓（ペンネーム：坂本慎太郎）  
第5回 18歳までは、むし歯ゼロで！  
nico 5月号 p.49-51 クインテッセンス出版  
第6回 私のインプラント治療  
nico 6月号 p.51-53 クインテッセンス出版

### あるあるトークでふりかえる DH 臨床のエラー

落合真理子 他  
⑤インスツルメントのシャープニングができていない  
歯科衛生士 5月号 p.52-55 クインテッセンス出版  
⑥器具・器材の管理ができていなかった  
歯科衛生士 6月号 p.54-57 クインテッセンス出版

### 早期発見がカギになる 根面う蝕のマネジメント [実践編]

久保至誠, 杉山精一  
歯科衛生士 6月号 p.59-70 クインテッセンス出版

### 読者が本当に聞きたいこと、全部答えます。[2023年下半期②]

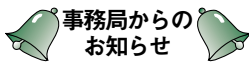
手指の感覚を鍛えるための練習方法を教えてください  
落合真理子  
歯科衛生士 6月号 p.78 クインテッセンス出版

### 〇〇で悩む先生に伝えたい自由診療の幸福論！

高山祐輔  
自由診療のワークフロー  
完全な歯科医療とは  
デンタルダイヤモンド 5月号 p.114-116 デンタルダイヤモンド社  
自由診療のワークフロー②  
包括的検査・共診断・コンサルテーション  
デンタルダイヤモンド 6月号 p.116-118 デンタルダイヤモンド社

### 外傷歯のアプローチ

泉 英之 他  
脱臼と歯根破折への対応  
小児歯科臨床 6月号 p.25-35 東京臨床出版  
脱離歯への対応  
小児歯科臨床 6月号 p.36-45 東京臨床出版



事務局からの  
お知らせ

## 各種申請書は学会ホームページからダウンロードできます

- ・終身会員申請書（65歳以上）
- ・休会申請書
- ・年会費免除申請書（産休・育休）
- ・認定歯科衛生士資格期間延長申請書（産休・育休）
- ・認定歯科衛生士資格回復手続書
- ・認証申請書

会員用ホームページのIDとパスワードは、毎年8月または9月に変更されます。新しいIDとパスワードは、ニュースレターno.3に同封されるB5カラーペーパーをご確認ください。

The screenshot shows the website interface for The Japan Health Care Dental Association. The main heading is '会員ページ' (Member Page). Below the heading, there is a navigation bar with links for '認定診療所申請について', '会員企画頒布品一覧', 'ウイステリア', '赤ちゃん歯科ブログ', '掲示板', and 'F.P.S.'. The main content area lists several application forms available for download, including '企業頒布品オンラインショップ', 'News Letter全文掲載(PDF)', 'ウイステリアアポイント追加日付file', '会員限定動画閲覧', '貸し出しDVD/VHS/CD-ROM', 'Zoomミーティング予約カレンダー', '各種申請書ダウンロード', and '認証申請書'.

Health Care  
Meeting  
2024

# HOME DENTIST PROFESSIONAL を 深掘りしてみよう座談会 (1巻 Case17 から) 2

藤木省三, 千草隆治, 丸山和久, 高橋 啓



症例：HOME DENTIST PROFESSIONAL 第1巻 p.76

初診日：1997.1.6

生年月日：1947年3月

性別：女性

初診時年齢：49歳

主訴：下顎前歯部の歯肉が痛い

全身状態：2016年から高血圧のためCa拮抗剤開始。2023年からCa拮抗剤が2種類になり歯肉肥厚が出現

前は歯周基本治療を中心に話を進めました。今回は、メンテナンスについてサブカルテの記載から学んでみたいと思います。

最初にその後の様子を図1～3に示しておきます。

2日目 (10/14)  
メイン講堂 午前①の  
ホームドENTIST・  
プロフェッショナル番外編に  
参加してさらに深めよう!

2007.12.7



2008.4.4

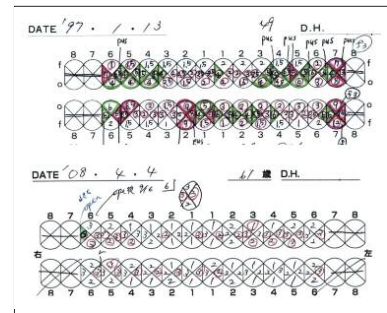


図1 初診から約10年後の口腔内写真, デンタルX線写真, プロービングチャート

2015.5.12



2015.5.12

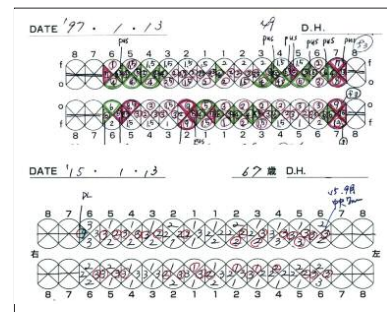
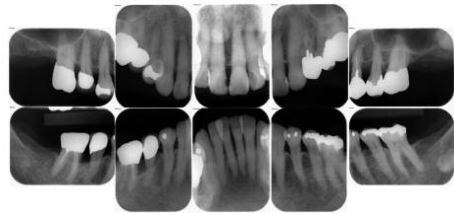


図2 初診から約18年後の口腔内写真, デンタルX線写真, プロービングチャート

2021.12.7



2022.3.29

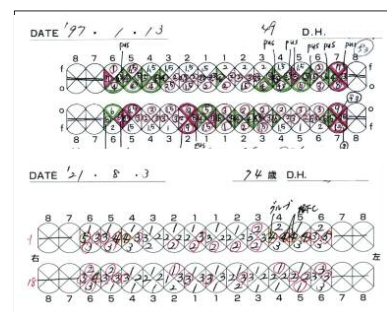
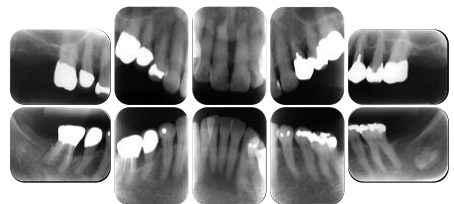


図3 初診から約25年後の口腔内写真, デンタルX線写真, プロービングチャート

### サブカルテに関して

**藤木** サブカルテの資料もいただいておりますが、みなさんのところと比較してどうでしょうか。

**丸山** 25年前のサブカルテ1ページ目が今も現役なのが驚きです！ 口腔内写真、デンタルの記録が一目でわかります(図4)。記入内容は簡潔ですね。

**千草** 私も、サブカルテの記載は端的に書かれていて、むしろ淡泊かなとも思えます(図5-1)。

**丸山** 20数年経つとサブカルテの内容がだんだん高齢者の様子になってきています(図5-2)。当院ならもっとダラダラと(詳細に!?) パーソナルな情報が入ってるだろうなあと思います。大西歯科ならより詳しい口腔内情報があるのかもしれないと思いました。

**藤木** 赤字での院長のチェックがあって、きちんと読まれていることもわかります(図6)。

**高橋** まず、何か月リコールなのかを書いてあるのは、すぐ真似しようと思いました(図7)。経時的に追ってみても、わかりやすいです。また、来院間隔があいたときも記録があり、来院状況がわかりやすく、追いややすいです。

**丸山** サブカルテから、染め出しは毎回? 要注目箇所のごらつきなどはメンテナンスごとにチェックしている様子がわかります。そして、その際の対応が記載されています(ディプラーキング念入りとかざらつきとかキュレットとか)。メリハリの効いたメンテの様子がサブカルテから読み取れます。

### メンテナンスの内容などに関して

**藤木** サブカルテから読み取れるメンテナンスの内容等についてはどうでしょうか。

**高橋** サブカルテのとて大きな発見は、基本的にメンテナンス来院のなかで、処置も行っていることです。患者さんに頻繁に来てもらうことなく、メンテの来院で、予定を組んで対応(キュレッタージ等)しています。岡歯科の患者さんへの優しさを感じました。無駄な来院をさせていない、我々もできる対応は、見習っていきましょう。

**千草** メンテナンスを行っていてもある程度の問題は発生していることがわかります(根面のざらつき、肉芽、さらには根面う蝕、もっといえばフレイル)(図8)。これは生命体としての運命かと思えます。頻繁に出てくる「根面のざらつき」の正体はなんなのでしょう? また、メンテ中に肉芽除去とありますが、どこにあるかわかるかの判断、どうやって除去するのか、その際に麻酔は必要なのでしょうか。

**藤木** 20年以上継続しているサブカルテを読むと、メンテナンスの目的はバイオフィルムの除去だけではなくてさまざまな問題に注意しておかなければならな

図4 初診時からの検査日等の記録

図5-1(左)、5-2(右) 患者が82歳を過ぎたころのサブカルテ。高齢になってきた様子が窺われる。

図6 赤字でのチェックやコメントがほぼ毎回記入されていて、院長がサブカルテをしっかりと読んでいることがわかる。

図7 メンテナンスの間隔が毎回記入されている。

いことがよくわかります。そして、何か異常を見つけたらすぐに対応することで長期の安定が得られるでしょう。千草さんが言われた、メンテナンス中の細かい手技も知りたいですね。岡さんに聞いてみます。

**藤木** サブカルテを読むとほぼ毎回ブラッシングのチェックと指導を行っているのがわかります。根面う蝕の注意(図8)や口腔乾燥の注意、う蝕リスクへの配慮もわかります。

**千草** 2017.3.14には、14根面う蝕に対して食生活の問診、口腔乾燥のことも書かれていますね。2018.8.28には、根面カリエスにサホライド塗布していることも書かれています(図9)。

**高橋** サブカルテで5年ぶりのデンタルX線写真とありましたが、自分はこの症例だと3年に1回デンタルを撮りたいと思ってしまいます。そのあたりの間隔は、どのように考えて症例ごとに対応しているのでしょうか。プロービング、歯科衛生士のメンテナンスから、それぞれの答えを導き出していく必要があります。撮影間隔も機械的に決めずに、症例と向き合って決めているなあ、人を相手にしている臨床と思いました。

**千草** 2008年には、リコール期間も3ヵ月から4ヵ月へ変更されています(図10)。その根拠や意図は为什么呢？

**藤木** このあたりも尋ねてみましょう。一つの症例をじっくりと観ていくと大切なことが浮かび上がってきます。岡さんだけでなく私たち4人も心がけていることですが、ぜひ若い人たちに実践して欲しいことをまとめてみました。

- ・院長が写真、サブカルテを見る、読む、サブカルテに指示やコメントを書く
- ・歯周治療は担当制
- ・歯周治療は60分
- ・デンタルは歯科医師が位置づけする
- ・成人のメンテナンスは毎回歯周組織検査を行って、方針を決める
- ・高齢者や身体的精神的な障害がある場合のように特別な場合を除いて、1ヵ月2ヵ月の妥協的メンテナンスを繰り返さない
- ・常に歯科衛生士と情報共有しながら歯周治療に取り組む
- ・う蝕予防、歯周治療、メンテナンスの結果をウイステリアに残す

**最終回は**

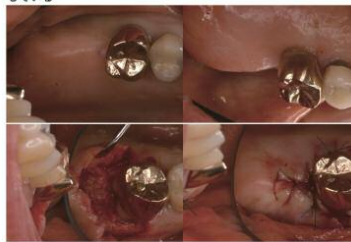
最終回は全体を通して、総論的なこと、治療方針について議論してみたいと思います。お楽しみに。

図8(左)、9(右) 歯周組織や根面の様子だけでなく、カリエスリスクに関してチェックが行われていることがわかる。

図10 状況に応じてメンテナンス間隔が変更されている。

2008.5.14

右上6番歯心の慢性炎症性組織(感染組織)除去のためにFOPをしている



2008.9.16



図11 慢性炎症性組織除去のための外科処置とその後の様子

○掲載の図表は以下のURLより大きなサイズ(PDF)でご覧いただけます。

[https://healthcare.gr.jp/newhp/wp-content/uploads/202407\\_NL27-3\\_HDP\\_2.pdf](https://healthcare.gr.jp/newhp/wp-content/uploads/202407_NL27-3_HDP_2.pdf)



## 岡 賢二さんからのお返事

**Q** 根面のざらつきとはどのようなことでしょうか？

**A** サブカルテには、“根面のざらつき”“不良肉芽”のように何気なく使っている言い回しがあります。ここで整理しておきます。

“根面のざらつき”は、プラークと歯石の中間的な沈着物です。プローブで探知するとざらざらした触感なのでざらつきと呼んでいます。これはプラコン不足によるもので放置しておくとも縁下歯石に移行します。これらは、超音波チップでほぼ除去できます。岡歯科ではブローイング時の根面のざらつきを重視していて、何十年も良い状態で維持できる症例とそうでないものの違いは、歯石・ざらつき・不良肉芽（慢性炎症性組織）がメンテナンスの時に適切に除去できているかどうかだと考えています。

**Q** 肉芽の判断、除去の方法は？

**A** ホームデンティスト・プロフェッショナル第3巻5章に詳しく載っています。不良肉芽、肉芽といった記載がサブカルテにあります。イメージとしては抜歯したときに骨面にこびりついている感染組織のようなものです。肉芽ではなく、正しくは慢性炎症性組織あるいは感染組織と呼ぶべきものです。放置しておくとその部位の感染がずっと続くので除去すべきものです。

縁上のプラークコントロールは良好なのに縁下を触ると異常に出血が多いケースは慢性炎症性組織を疑います。またこの際ポケット内部や底部のプローブの触感にも正常組織と違った張りがない感覚があります。メンテナンスで経

過良好であっても、歯周基本治療時にリスクが高かった人では常に注意深く観察する必要があります。

必要に応じて麻酔をし、除去はキュレットで行います。量が少なければ内縁上皮を一層軽く搔爬する程度ですが、ぶよぶよと柔らかいものや骨縁下ポケット内で骨に付着しているものはしっかり除去します。除去後は必ず超音波のチップでしっかり洗浄します（図11）。

“ざらつき”“慢性炎症性組織（感染組織）”は、歯周炎の感染の最前線です。“ざらつき”は、感染の足がかりになっているので、早め早めにきれいにします。“慢性炎症性組織（感染組織）”は、まさしく感染源であり除去すべきものです。

**Q** デンタルX線写真撮影の基準やメンテナンス間隔の決め方

**A** デンタル10枚は、歯周初期治療後安定している人は4年に1回、リスクの高い人は3年に1回を基本にしていますが、患者さんの来院状況や医院の人手不足（産休やコロナなど）により、期間が延長することがあります。う蝕リスクが高い人はその間にバイトウィングを1年間隔で撮ります。その他メンテナンス時に異常があった場合は必要に応じて撮影しています。

メンテナンス間隔は4ヵ月に1度を基本にしています。う蝕や歯周病のリスクがある人は3ヵ月に1度。う蝕や歯周病リスクのない人は6ヵ月に1度です。

**Q** サブカルテから、染め出しは毎回？

**A** 患者さんが染め出しを拒否される以外は基本毎回染めています。

## 大阪ワンデーセミナー 2024

日時：2024年9月1日(日) 10:00～16:00 (開場 9:30)

場所：大阪歯科大学 創立100周年記念会館 大講義室

定員：200名

参加費：会員歯科医師 9,000円 非会員歯科医師 12,000円

会員歯科衛生士 5,000円 非会員歯科衛生士 8,000円

会員その他 4,000円 非会員その他 5,000円

研修医 1,000円

学校関係者(教員・学生) 無料

※全職種・要登録

## 公認団体: ADF スタッフミーティング

〈ADFで楽しみながら一緒に学びませんか?〉

日時：2024年9月7日(土) 11:30～16:30 (17:00より懇親会)

場所：兵庫県立淡路夢舞台 国際会議場

参加費：会場参加・オンライン共通 3,000円 (懇親会 8,000円)

対象：スタッフとともに学ぶ機会を探している、チーム医療に興味がある、他院の取り組みを知りたい、将来の開業に向けて医院像を模索中…など、興味のある方はぜひご参加ください!

申込み：ADF事務局 担当までメールでお知らせください。

おおの歯科・矯正歯科(神戸市) 担当：石垣紫乃

ohnoshikaiinadf@gmail.com

応募締切：会場は当日までOK。オンラインは8月末まで。

## コミュニケーションセミナー 2024 実践編

日時：2024年9月23日(月祝) 10:00～16:00 (開場 9:30)

場所：川口フレンドピア

講師：渡辺勝+わたなべ歯科スタッフ

対象：ヘルスケア歯科学会会員とその診療所スタッフ

募集人数：50名

参加費：会員歯科医師 10,000円 会員スタッフ 5,000円

非会員スタッフ 7,000円 (職種は問いません)

ヘルス(学会内通貨) 利用可

会員歯科医師 10ヘルス 会員スタッフ 5ヘルス

## ヘルスケアミーティング 2024

歯周基本治療からはじまるヘルスケア歯科診療

日時：2024年10月13-14(日・月祝)

場所：一橋大学一橋講堂+中会議室・一部Zoom ウェビナー

参加費：会員歯科医師 17,000円 非会員歯科医師 20,000円

会員その他 10,000円 非会員その他 13,000円

学生・研修医無料(要登録・要証明書)

(オンライン参加も1人1アカウント必要)

ヘルス(学会内通貨) 利用可

会員歯科医師 20ヘルス 会員その他 10ヘルス

懇親会：6,000円(要申込・会場参加のみ)

2日目お弁当：1,000円(会場参加のみ)

告知板

## 連載 16

## フォーラム

## フォーラム

## 【ヘルスケアと赤ちゃん歯科】 ウェル baby イング

岸 望 (歯科助手・うつぎざき歯科医院)



会員サイト内：[赤ちゃん歯科ブログ]

## お口の健康と姿勢

赤ちゃん歯科は乳幼児期（あるいはそれ以前の胎児期）から適切に関わってあげることで、口腔は勿論、全身が健康に発育できるように導く究極の予防歯科です。全身の健康はお口が健康に育成されることから始まるといえます。

私が赤ちゃん歯科の存在を知り、実践し始めて3年が経ち、当時5ヵ月だった次男は現在3歳5ヵ月になりました。これまでセミナーを受けたり、書籍を読んだりして、試せることは実践してきました。しかし、それにもかかわらず、次男の咬み合わせは、反対咬合になってしまいました。そのほかにも、便秘や風邪をひきやすいなど、育児に関する悩みは尽きません。

現在、口腔機能発達不全症という病名が歯科保険に導入され、当院でも、口腔を中心としたMFTを指導する機会が増えました。ただ、改善する症例もあれば、うまくいかない症例もたくさんあります。そこで、気づいたことは、口腔を中心とした頸頸部のMFTだけでは、お口の正しい姿勢は獲得できないということです。首から下の姿勢が大切で、お口の正しい姿勢と密接に関わっていることが分かりました。

そこで、院長の勧めで、全身の姿勢とお口の関係についてのセミナーを、当院のスタッフ2人とともに受け、実際にそれぞれの子どもたちを診てもらうことができました。そこで教わったことはまず足指についてで、変形のない足指が、正しい全身の姿勢獲得には大のため、変形した足指ではバランスをとるために、立位時に頭部が前方となってしまいます。そして、それによって開口筋が優位にはたらく姿勢となり、口は開いてしまい口呼吸となってしまうということです。

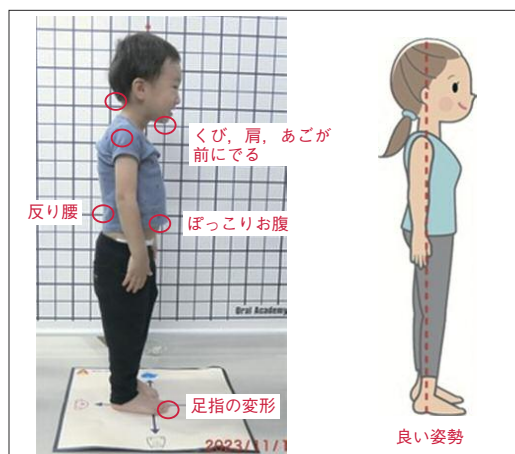


図 1



私たちの子どもは皆、そのような姿勢でした。お腹が突き出て、腰は前方に反った反り腰で、首も前方に出たストレートネックの状態です（図1）。セミナーのなかで、どんなに不自然な姿勢か、自分たちの子どもの真似をして、突き出たお腹反り腰の姿勢をやってみましたが、背中中は痛いし呼吸もしづらい、たいへん窮屈な姿勢でした。その姿勢でMFTなどできるはずがありません。姿勢とお口の関係の大切さを身をもって体験することができました。

そして、良い姿勢を取るためには抗重力筋を鍛えることが大切ということを知りました。抗重力筋とは、ハイハイ、自座位、つかまり立ち、歩行という成長過程で、体幹が鍛えられていくとともに発達していく筋肉です。腹直筋、横隔膜、脊柱起立筋、骨盤底筋などをいいます。セミナーのなかでは主に、足指のマッサージ方法や腹直筋の鍛え方、起立筋の緩め方などを教わり、実践しているところです。

お子さんは未来のために、成人は末長く健康でいるために、することは似ていると感じます。赤ちゃんや子どもたちに指導するためには、まず自分たちが体験し、継続し、理解を深めることが大切と思い、当院では毎朝朝礼時に、院長をはじめスタッフ全員で、あいうべ体操、唾液腺マッサージ、べろ回し、ぶくぶく、タオルトレーニングなどを行ってきました。最近では、首から下の姿勢を整えるために、ストレッチボードに乗り、姿勢の改善を図っています。また、新しく教わったことも徐々に取り入れていこうと思っています。

私たちが身をもって体験し実践することは、自分たちの健康にもつながりますが、指導するときに、自分の体験として話ができるので、説得力のある指導ができます。これからもその経験で得たものを患者さんにフィードバックしていけたらと思っています。

★月1回21時からZoomミーティングを行っております。



## 調査 1

## Doプロジェクト 拡大調査 1 (2023 年度)

Do プロジェクト調査 1 へのご協力をお願いします。この Do プロジェクト調査 1 資料提出は、認証診療所の更新条件です。

## ※ 調査の目的：

- 1) 日本ヘルスケア歯科学会の会員診療所の協力により調査を行い、日本における歯科疾患の状況を把握することを助ける資料とし、今後の歯科医療環境の改善に役立てる。
- 2) 調査協力診療所に来院する初診患者の状況を把握して、診療システムの改善に役立てる。

## ※ 調査参加資格：

- 1) 日本ヘルスケア歯科学会会員の診療所
- 2) 資料（必須項目）をデジタルデータで提出できること

## ※ その他：

患者さんを匿名化して提出していただいたデータは、事務局で診療所名を匿名化したうえで集計します。結果は会誌にて公表します。


※ 資料提出期限：2024 年 9 月 1 日～10 月 31 日（認証診療所は更新要件です）

調査対象：2023 年 1 月 1 日～12 月 31 日に来院した初診患者全員

基本データ（必須）調査項目とともに **1** または **2** のどちらかを選択して資料をご提出ください。

	調査項目	備考
基本データ ( <b>1</b> <b>2</b> 共通)	生年月日、性別、初診年月日、初診時年齢、カルテ番号	●必須項目
<b>1</b> 2023 年度初診患者調査	ウイステリア ●5 歳から 20 歳：DMFT ●20 歳以上：DMFT・残存歯数・歯周病進行度・喫煙経験  デンタル X ●抽出ファイル（歯周病・dmf-DMFT）	●初診患者全員すべての項目のデータが揃っていません。 もかまいません。
<b>2</b> 2023 年度初診患者 +ワンポイント調査	① 5 歳～20 歳の DMFT 20 歳以上の初診患者の以下のうちいずれか 1 項目以上 ② 残存歯数 ③ 歯周病進行度 ④ 喫煙経験 ⑤ 抜歯履歴（抜歯数と抜歯理由があれば可）	●①～⑤のいずれか 1 項目のデータが全員分入力されていること。


提出される調査の抽出用ファイルを学会ホームページよりダウンロードしてご利用ください（抽出マニュアルも同梱）。



いつでも・どこでも！ 一人でも・グループでも！

## カリエスマネジメントセミナー（全 7 回）2022

講師：杉山精一（日本ヘルスケア歯科学会 副代表・CRASP 開発者）



杉山精一さんによる「カリエスマネジメントセミナー全 7 回」がオンデマンド配信（レンタル）でいつでも受講できます。院内勉強会にぴったりです。

対象：会員・非会員問わずカリエスマネジメントを学びたい方

受講料：シリーズレンタル（全 7 回）1 年間レンタル 10,000 円  
エピソードレンタル（1 回）30 日レンタル 2,000 円



パソコン・タブレット、スマートフォンに対応

※詳細は学会ホームページをご参照ください



# ヘルスケア歯科診療について藤木が伝えたいこと 2024

## ウステリアの誕生と私が使い続けている理由について



藤木省三（神戸市開業）

### その3 気になったことを確認できる！

毎日診療していると、これってどうなんだろう？ という疑問が湧いてくることはありませんか。 なにか気になるなと思ったときに調べることができるのがウステリアです。

#### 〈子どもの歯を守るためにはむし歯予防だけでいいのかな？〉

当院で子どものう蝕予防に取り組んである程度の実績が見えてきたころ、う蝕予防のほかに注意すべきことがあるのか気になって調べてみることにしました。

初診時の年齢が6歳以下の子どもを、定期健診に来ているグループ（グループA）とほとんど来ていないグループ（グループB）に分けて調べてみました（図1）。

2023年のヘルスケアミーティングで杉山精一副代表が言われていたように、平均値ではなく分布から大事なことがわかります。図2からはグループAの子どもはグループBの子どもと比較して新たなう蝕発症が極めて少ないことがわかります。

処置の内容を詳しく調べたのが図3です。う蝕の数だけでなく、デンタルX線写真でう窩と歯髄の距離が1mm以下の深部う蝕はグループBだけに認められます。う蝕による抜髄処置もグループAがゼロに対して、グループBでは4ケース認められます。このように、定期健診を受けるか受けないかで、う蝕の数だけでなく質も大きく異なることがわかりました。このような結果から当院のう蝕予防効果とその重要性が実感できました。

定期健診が効果があるのは当然として、このデータからさらに重要なことがわかりました。抜髄処置をした原因がう蝕によるものが4ケースに対して、中心結節の破折によるものが2ケースもありました。子どもの歯を守るためには、う蝕予防だけでは不十分であることをデータから知ることができました。

問題点がわかれば解決法を考える！ ですよ。早速、中心結節に関するプリントを作って、対応する年齢の子どもたちに配布して注意を促すようにしました。

#### 〈今回のまとめ〉

データをなぜ入れるのか？

それは、「知りたいことを知るため！」

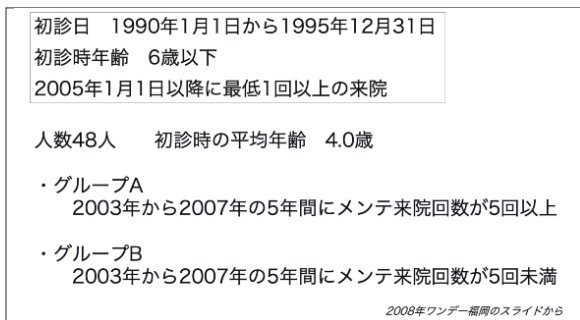


図 1

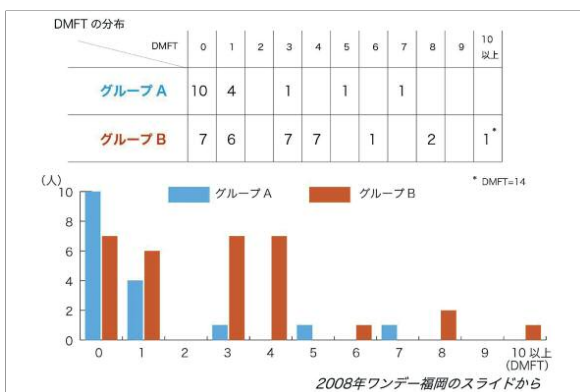


図 2

	人数	初診時の平均年齢	現在の平均年齢	初診時DMFT	現在DMFT	DMFTの増加	*1 深部う蝕の数	抜髄処置の数	1年あたりのメンテ回数
全員	48	4.0	19.1	0.4	2.3	1.9	9	8	0.7/年
グループA	17	3.9	17.9	0	1.1	1.1	0	1	1.8/年
グループB	31	4.1	19.8	0.6	2.9	2.3	9	7	0.2/年

\*1：デンタルレントゲン写真にてう窩の底部と歯髄との距離が概ね1mm以下の場合  
\*2：外傷による抜髄  
\*3：中心結節破折による抜髄2例と外傷による抜髄1例を含む

2008年ワンデー福岡のスライドから

図 3

問題点がわかった！

↓

次にやるべきことは、啓発用のプリントの作成

ちゅうしんけつせつ 中心結節について

レントゲンに写ったものが写っています。この結節での破折が重要です。

中心結節が折れてしまうと、神経が死んでしまいます。

神経に力が入ると、神経が死んでしまいます。

定期健診で早く見つけてあげると、神経を保存することができます。

神経が死んで、歯の寿命が長くなります。

中心結節は生後3年くらいから見られるようになります。早く見つけるために定期健診には必ず来て下さい。

図 4



# 歯科用語、イッパツで変換できていますか？



森 一弘 (学会認定ウイステリアサポート技術者 アクセス代表)

### ☆アクセス

〒 842-0033  
佐賀県神埼郡吉野ヶ里町豆田 2103-13  
TEL. 0952-51-1776 ・ FAX. 0952-51-1767  
携帯 090-1920-7894  
URL <https://www.access-dental.jp/>  
URL <http://www.access-pcdoc.jp>  
E-mail [kazu@access-pcdoc.com](mailto:kazu@access-pcdoc.com)

日々の診療で、パソコンやタブレットで歯科用語を打ち込む機会が多いと思います。しかし、ほとんどの歯科用語は、予測変換には出てこないはず。講演や発表でスライドを作る場合など、歯科用語がイッパツで変換できれば作業がはかどることでしょう。

ある日、「パソコンや iPad で歯科用語変換ができるユーザー辞書がないか」という問い合わせをいただき、Yahoo!で「歯科用語辞書」で検索をかけたところ、「1D」という Web サイトに辿り着きました。(URL <https://oned.jp/posts/4405>)

さっそく「Mac&iPhone ユーザー辞書」と「設定方法 PDF」をダウンロードし、設定方法の指示に従って、ものの数分であっさり歯科用語辞書が使えるようになりました。たとえば“11”とキー入力すると「1」，“33”は「3と変換され、他にも図3のような変換もイッパツで出てきます。こういった歯科用語が

14,595 語収められたユーザー辞書が無料で公開されているのです。これは使って損はないでしょう。設定方法については、ダウンロードできる資料を参考にすれば、さほど難しくはないのでここでは割愛します。

この 1D という Web サイト (URL <https://oned.jp/>) は、そもそも「ワンディー株式会社」が運営する歯科のオンライン動画セミナーの配信が専門でした。すでにご存知の方も多いかもかもしれません。こちらのサービスは有料ですが、ご興味のある方は覗いてみてはいかがでしょうか。

※今回の内容については、ワンディー株式会社様に許可をいただいたうえで記事を掲載させていただきました。あくまで「歯科用語辞書」が便利かつ無料であったためご紹介したものです。



図 1



図 2

#	変換	入力
1	0	あっぱい
2	1	あっぱい
3	2	あふふらくしょん
4	3	アライナー
5	4	あるじねーと
6	5	いーらいん
7	6	いがいさよう
8	7	いがいせい
9	8	いしや
10	9	いとてきさいしよく
11	10	いとてきさいしよくじよつ
12	11	いぬき
13	12	いぶつ
14	13	いやよろほう
15	14	うか
16	15	うしよく
17	16	えなめるしつ

図 3

## 1D 関連情報

上の記事と直接関係はありませんが、2024年8月下旬から 1D において、ヘルスケアのオンラインセミナー（10回シリーズ）が登場します。登壇者はコアメンバーが中心で、高橋 啓、杉山精一、千草隆治、渡辺 勝、古市貴暢、曾野 偉錬です。1D に登録されている方は、そちらもチェックをお願いします。内容は、ヘルスケア歯科診療の基本的なことに関するシリーズになります。当学会は、1D とだけコラボをしているわけではなく、いろんな媒体とのコラボが進行中です。その一つとご理解ください。(代表・高橋 啓)

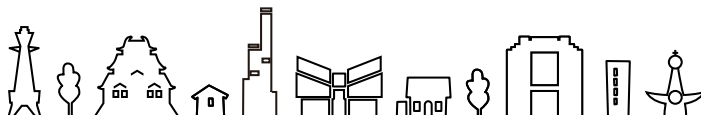
## SNS/YouTube で情報発信中！

学会 web サイトの更新情報(セミナー・イベント情報)をほぼ  
随時発信中！ 医院のスタッフの方もどなたでも登録 OK !  
\*会員限定のメールマガジンも不定期配信中！ 事務局までメ  
ールアドレスを登録してください。



受付中

ワンデーセミナーとは  
1日で理解できる「ヘルスケア歯科診療」



# OSAKA ワンデー セミナー2024

ぼちぼちいこか  
シン・関ヘル

2024年9月1日(日) 10:00 ~

場所：大阪歯科大学  
創立100周年記念館 大講義室  
(大阪市中央区大手前 1-5-17)

## 【参加費】(全種別要登録)

会員歯科医師	9,000円	非会員歯科医師	12,000円
会員歯科衛生士	5,000円	非会員歯科衛生士	8,000円
会員その他	4,000円	非会員その他	5,000円
研修医	1,000円		
学校関係者(教員・学生)	無料		

【定員】200名(定員になり次第受付終了)

【対象】ヘルスケア歯科学会に興味がある方、すでに会員の方、診療所の新人スタッフへの落とし込みしたい方、など

※詳細はこのニュースレターに同封のフライヤーをご覧ください。お申し込みはこちら→



※会場での飲食は不可。昼食の用意はありません。

受付中

ヘルスケア歯科診療だからこそ必要な

## コミュニケーションセミナー プレミーティングinオンライン

2024年7月17日  
8月21日

毎月第3水曜日 20:00 ~  
Zoom ミーティング

対象：歯科医療従事者ならどなたでも 定員：100名 参加費：無料・要登録

9月23日(月祝)にリアル開催の「コミュニケーションセミナー」前のオンラインプレミーティングです。

ヘルスケア歯科診療や、チームビルディングに必要なコミュニケーションのtipsを渡辺勝がわかりや

すくレクチャーします。各回はテーマを変えた独立したものになりますので、ご興味のある回のみでの参加も可能です。ブレイクアウトルーム(少人数の班分け)を利用しますので、顔出し、声出し可能な場所でご参加ください。



## コミュニケーション セミナー 2024 実践編

リアルで会おう!

2024年9月23日(月祝) 10:00-16:00(開場9:30) 会場：川口フレンディア

募集人数

50人

対象 ヘルスケア歯科学会会員とその診療所スタッフ

### 参加費

会員歯科医師：10,000円  
会員スタッフ：5,000円  
非会員スタッフ：7,000円  
(職種は問いません)

ヘルス(学会内通貨)利用可  
会員歯科医師：10ヘルス  
会員スタッフ：5ヘルス

講師 渡辺 勝+わたなべ歯科スタッフ

今回はリアルで集まることにより、『知る』『分かる』から『行う』『できる』にステップアップできるようワークを行いながら、落とし込んでいきたいと思っております。診療所のみなさんでの参加をお待ちしております。

※昼食のご用意はありません。各自でお済ませください。  
※詳細はこのニュースレターに同封のフライヤーをご覧ください。お申し込みはこちら→



# 動画<POINT ぶっでしやう (3)

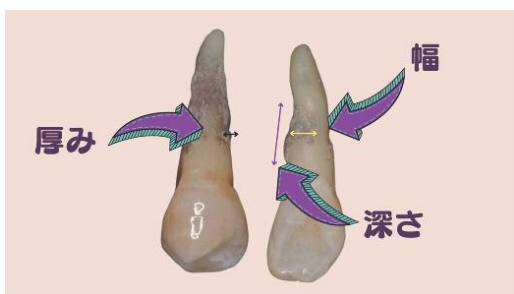


(落合真理子)

## 第3回【やっぱり大事！根面探知】

前回は根面探知についてお伝えしましたが、今回もやります！

そのくらい、SRP 成功に根面探知が重要なのです。歯肉縁下歯石の幅・深さ・厚みをエキスポローラーで探知していくのですが、歯石の全体像をイメージできたら、次に、エッジを食い込ませるポイントがどこであるかを探しましょう。



歯石の底部をブレード（刃部）のエッジ（刃の部分）に食い込ませて引き上げることで歯石が根面から引き剥がされて除去されますので、歯石の底部にエッジを的確に食い込ませなければなりません。

### 根面探知で歯石を発見したら・・・

- ① 全体像のイメージ（幅・深さ・厚み）
- ② 歯石底部のエッジを食い込ませるポイント探しを行きましょう。

### ☆根面探知の4ステップ☆

**SRP成功は探知スキルにあり!**

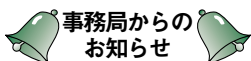
<b>STEP 1</b> エナメル質・補綴物の 感触をキャッチ! 沈着物のない質感を 手に覚えさせよう!	<b>STEP 2</b> 最初の段差が CEJ・補綴物マージン	<b>STEP 3</b> ここから根面探知 スタート!	<b>STEP 4</b> 幅・深さ・厚みを キャッチ! ザラつきを感じても 引っ掛けない! ザラつきを乗り越えて 形をイメージしよう!
---	--	------------------------------------	--

補綴物が装着されている歯牙の探知が難しい、というご質問をよくいただきます。

確かに、難しいですね。

深いポケットだからといって、いきなり根面探知しようとする、根面の凹凸と補綴物マージンの凹凸の区別をつけることができず、オーパトリートメントを引き起こしかねません。

補綴物が装着されている歯牙でも4ステップの2で補綴物と根面の境界線を把握できますので迷いなく探知することができるようになります。



### 年会費口座振替のお知らせ

2019年より年会費の支払いについて、「株式会社アプラス」の収納サービスを利用し、口座自動振替をしています。

毎年10月27日（金融機関の休日にあたる場合は翌営業日）に翌年度年会費が自動引き落としとなります。

現在お手続きされていない方で、引き落としをご希望される方は、このニュースレターに同封の申込書をご利用ください。

申込み締切：2024年8月31日（土）

**2025年度分引き落とし日：2024年10月28日（月）**

当学会の年会費は「郵便振替」「銀行振込」「自動引き落とし」の3種類に加え2022年度からオンライン決済【ペイパル、デビットカードおよびクレジットカード】も選べます。

### 訂正とお詫び

日本ヘルスケア歯科学会誌（第24巻第1号）の誤りについて  
本誌に以下の誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。

- 90ページ 〈要約〉4行目  
(誤) 58 診療所  
(正) 63 診療所
- 同 英文 5行目  
(誤) 58 member clinics  
(正) 63 member clinics

## ウェビナー報告

Webセミナー 2024年4～6月

新オンラインサロン 2024年4～6月

### ヘルスケア Web セミナー

2024年4月17日(水)20:00～ 運営：田幡

コミュニケーションセミナープレミティンング in オンライン  
『鼻ピアスをしているスタッフさんへの対応(医院の方針と  
見解が違う時)』

(パネリスト：渡辺 勝)

今回のセミナーを通して、人に要件を伝える際の接し方や納得して理解を得るまでの表現の工夫に苦戦しながらも、参加者との話し合いを通して、明日からのコミュニケーションのコツを具体的に学んだ1時間となった。

本セッションのなかで、人によっては攻撃的に捉えてしまったり、個人の解釈によってうまく伝わりきれていない部分があることに気づいた。また、そこに対する表現の仕方や、自分の伝え方の強みをロールプレイや相互のフィードバックを通して知ることができた。

今回のテーマが、『鼻ピアスをしているスタッフさんへの対応(医院の方針と見解が違う時)』ということで、私たちの班では、「衛生的」「医院全体の印象や価値観」を重点的に伝えようとし、「スタッフ全員と話し合い、互いに納得のできる新しいルールを設ける」ことが最適なのではないかと考えた。「衛生的」については、仮に身に着けていたアクセサリが外れてしまったときの対応や、それによる術者やユニット内の衛生面などについて話し合いを行った。また、「医院全体の印象や価値観」に関しては「〇〇歯科医院」の看板を背負っている自覚を持つという点で話し合うことができた。今回のセミナーでは、歯科医院に勤めている人だけでなく企業勤務の方とも交流することができ、医院と企業の理念の違いが、自分の今後の考え方の参考にすることができた。

セミナー内でのセッションにおいて生まれた、自分の反省から活かせる改善点が何なのか、ロールプレイを通して、もし似たような場面やシチュエーションに出会ったとき、自分は相手の考えを尊重しながら相互理解を得られるのか。そんな内省のきっかけをくれるコミュニケーションセミナーは、実例に基づいた具体的かつ実用的なコミュニケーションを学ぶことができる。自分のコミュニケーションに自信がない方や幅を広げたい方、ぜひご一緒しましょう。

(報告：橋本水葵 栄養士・わたなべ歯科)

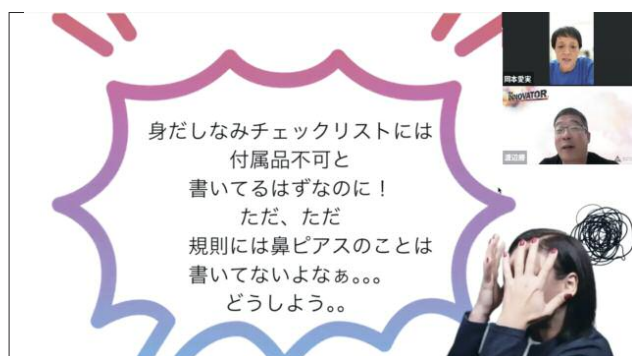
2024年5月15日(水)20:00～ 運営：田幡

コミュニケーションセミナープレミティンング in オンライン  
『痛いところだけ治療してほしい、他は気にならない、時間も  
ないので治療はここだけでいいという患者さんの対応』  
(パネリスト：渡辺 勝)

お題は、歯科医院ではとって身近にある設問で、私は自問自答しながら参加しました。

今回もロールプレイを中心にした参加型セミナーで、2名に分かれ、自己紹介と共通項探し。お題に対するロールプレイは患者役と医療従事者役に。田幡 壮さんの司会による発表と学びと感想。その後5分間まとめのロールプレイ。最後にそれぞれの班での発表があり、田幡さんと渡辺さんの総括、という流れでしたが、90分間があっという間に終了した充実した学びの時間でした。

今回、田幡さんからコミュニケーションについてわかりやすいたとえ話が質問形式であり、「相手を説得してコントロールして通院してほしいか？ それとも、その人に自立的に通院してほしいか？」という質問に参加者全員が後者と意思表示し、



「立場的に医療従事者の方が患者よりも知識が多いので、患者は構えて聞く。しかし、患者が自立的になって貰えるコミュニケーションは、それを溶かすような信頼関係が築けていたら、説得にはなり辛い。それを溶かしているのは、相手を肯定的に捉えること、相手から出てくる言葉を受け止め、寄り添うこと。私はその立場だったら？と自分に置き換えてみる。人間は大事なものに対しては自然にモチベーションが高くなるので、相手が何を大事にしているかを感じて、自然にモチベーションを上げてあげる。そして自立的に通院してくれるようになる」など、渡辺さんの適切な言葉の表現とともにとても勉強になり、私は身につけたいものとなりました。コミュニケーションには正解がなく、幅を広げることが大切だそうです。

当院ではスタッフ全員で9月23日のリアルセミナーに参加します。(報告：安田直美・クリスタル歯科)

**2024年6月2日(日)10:00～ 運営：曾野**  
**歯科衛生士も知っておきたい全身管理の基本**  
 (パネリスト：左合徹平 ホスト：岡本昌樹)

当院は、高齢化率の高い地域にあり、高齢でかつ有病率も高い患者が多く来院されています。そのため、バイタルサインを確認してから診療を行うこともありますが、それらをモニタリングしながら治療をすることまではできていない面がありました。バイタルサインの基本を学び直したうえで、患者にとってより安全で、安心して治療を受けてもらう環境を整えることの重要性を再認識しました。日々、診療を行っている中、麻酔や痛みに対する患者の恐怖心というものに鈍感になってしまいようになります。歯科治療は患者にとって、私たちが思っている以上にストレスを抱えやすいものだとすることを忘れず、より患者に寄り添った診療と適切な配慮をしてきたいです。そして、ないに越したことはありませんが、緊急的な対応が必要な際には、AEDやエピペンなどの使用を慌てずに迅速に行えるよう、再度、医院全体で使用方法などの確認を行うことも必要だと思いました。(報告：大本紗代 歯科衛生士・たかはし歯科)



**新ヘルスケアオンラインサロン**

**2024年4月9日(火)20:30～ 運営：古市**

**チームを増やすにあたり、診療の質を落とさずにやり切るための工夫(第2弾全3回)**

**③ヘルスケア診療とマーケティングについて**

**【予防を伝えるマーケティング】**

4月は2ヵ月ごとにお話しいただいている、藤本 淳さん(盛岡市開業)から各論その3「ヘルスケア診療とマーケティングについて」についてお話しいただいた。

一般にマーケティングといえば売れる仕組みを作ることを目指し、金儲け主義のようにとらえられるが、ヘルスケア歯科診療におけるマーケティングでは、患者さんにヘルスケア診療の価値を伝える、患者さんから望ましい行動を引き出す行動変容を含む。ゆいとびあ歯科では患者さんを「潜在患者」「見込み患者」「新患者」「メンテ患者」「ファン患者」と区分してマーケティング戦略を行っている。

**1. 潜在患者を見込み患者に**

自院を知らない患者さんに自院を知ってもらう。ホームページ、SNS、バス広告など広く知名度を上げる手法がある。

**2. 見込み患者を新患者に**

自院の価値観、方針、考え方を患者さんに示す。前述のホームページやSNSのなかで自院の診療の流れや取り組みを紹介し、どんな患者さんに選んでもらいたいか、どんな患者さんにはむいていないかを知ってもらう。新患として来院される時点で自院の理念に共感をもってもらえるため、その後の流れに移行しやすい。

**3. 新患者をメンテ患者に**

来院時に啓蒙DVDを見ていただき、医院の考え、治療の流れを説明する。患者ファイル、パンフレットをお渡しし、ヘルスケア歯科診療の重要性を理解してもらう。

**4. メンテ患者をファン患者に**

メンテナンスを行いつつ、食育講座やホワイトニング、矯正などの自院の付加価値を知ってもらう。受診する喜びが生まれるよう工夫する。患者さんに行動変容を促すだけでなく、自

**VVRの対応**

多くの場合は症状は一過性で**水平位に寝かせ安静**にすることにより自然に回復する。水平仰臥位から**30cm程度両下肢を挙上**すれば下肢からの静脈還流が増え、心拍出量が増し回復が速くなる。  
 原因となった迷走神経の緊張のものを除去するため**アトロピンの投与**も有効

**TCによる問診とコミュニケーション 医院方針の伝達**

患者さんへの資料提供

院スタッフも知識や技術の向上、真摯な誠意をもった行動、コミュニケーション力などで信頼関係を深める努力が必要となる。

ゆいとぴあ歯科では上記のさまざまな場面でデータを取り、マーケティング戦略の改善に常に努めている。患者さんの動向を知るだけでなく、自院の改善するところなどを知ることができる。また、すべての業務を自力で行うのではなく、一部は外部に委託して院長の負担を減らすことも効果的である。

ゆいとぴあ歯科が示すマーケティングは、「予防歯科、やっています！」のような画一的でフィードバックしない金儲け主義的なものではなく、患者さんの健康（健口）を守り育てるために何が重要なのかを常に伝え続けるとともに、自院の方向性と患者さんが目指す方向性を同じにする工夫がなされたヘルスケア歯科診療に則したものといえる。「品質は自ら創るもの、信頼は患者様の評価の結果としていただくもの」という言葉が自然と生まれるマーケティングだと思った。

これまで4回（総論+各論3回）にわたり有意義なお話をいただいた藤本さんにあらためて感謝するとともに、これからも機会があれば新しいお話を聞かせてもらいたい。

（報告：古市貴暢・医療法人社団明恵会 古市歯科医院）

## 2024年5月14日(火)20:30～ 運営：島野

### ADF(淡路デンタルフォーラム)の紹介

ADF スタッフミーティングの紹介を、阿部敬典さん（徳島市開業）にお話いただいた。

1994年に楠雅博さんが主宰され、今年で31周年になる会で「スタッフのスタッフによるスタッフのためのスタディ」を掲げているそうです。

過去の開催内容についてお話いただいたのですが、毎年演題7～10題を歯科医師・歯科衛生士・歯科助手が担当、それと講演があり、演題に対しては「最優秀賞」「優秀賞」「審査員特別賞」を設けているとのことでした。

あべ歯科医院の過去の発表を2演題供覧したのですが、「患者さんの意識をかえるということ」という発表のなかで、「患者に響く言葉を歯科医師と歯科衛生士で考える」「声かけとし



て『予防を楽しみましょう』『メンテナンスに来ていただくことが大切』といった言葉が印象に残りました。

ADFに参加（発表）して何がよかったかについてアンケートをとったそうで、スタッフたちには様々な気づきがあったそうです。

今年は第31回となり、9月7日（土）兵庫県淡路夢舞台国際会議場で開催されます（11:30～16:30 17:00～懇親会）。

スタッフとともに学ぶ機会を探している、チーム医療に興味がある、他院の取り組みを知りたい、将来の開業に向け医院像を模索している等ご興味ある方はぜひご参加ください。オンラインでも参加可能（応募期限8月末日）とのことでした。

（報告：島野圭介・島野デンタルオフィス）

## 2024年6月11日(火)20:30～ 運営：古市

### ChatGPT

#### 【ゆる～～く ChatGPT を知ろう】

生成 AI は近年急速に発展してきた技術で、大量のデータを基に新しいテキスト、画像、音声を手動的に作り出す人工知能である。その中でも OpenAI 社の ChatGPT は 2022 年 11 月のリリース時より生成 AI の牽引的な存在で、全世界で 16 億人以上が利用しているコモンツールとなった。

今回、杉山修平さん（八千代市）のご指導を基に ChatGPT を実際に利用しながら、我々の分野での応用を模索してみた。

ChatGPT は膨大なデータを常に更新しながら進化しており、ユーザーが求めるアイデアや文章、翻訳、プログラミング、イラスト作成、データ分析などを会話方式で的確に提供してくれる。学術論文を PDF から瞬時に要約だけを翻訳したり、プレゼンテーションで使うイラストを細かく要望を加えながら作ったりできる。曾野偉錬さんは、その歯科クリニックのテーマソングを即興で作らせていた。

ただ進化の著しい生成 AI だが、専門的な知識や細かいニュアンス的な部分は未だに苦手ようだ。私もサロンの後に「登山好きな 40 歳代後半のアジア系男性歯科医師が、富士山の見える山に登る」でイラストを作成したが、言いたいことはわかるが的外れなものになった（右画像）。

今後も我々の生活に不可欠となる生成 AI だが、あくまで道具であり、最終的な決定や責任はユーザーが負う必要があることを忘れてはいけない。

最後に吉田幸司さんの



ご厚意で、今回のサロンの動画を「tl;dv」（会議の録音ツールアプリ）で文字起こし、それを ChatGPT で要約したものを以下に記す。加筆や修正を一切しないでも、議事録として十分なクオリティがあると思う。

会議の要約

- 1. 会話の導入
  - ・ 曾野偉鍊氏がチャット GPT が無視することに関してのエピソードを紹介し、笑いを交えて会話がスタート。
  - ・ ヘルスケアミーティングの録画を始める準備が進む。
- 2. 杉山修平先生による ChatGPT の解説
  - ・ ChatGPT の概要、使用方法、進化の歴史について説明。
  - ・ ChatGPT は生成 AI として大量のデータを基に新しいテキスト、画像、音声を自動生成する能力を持つ。
  - ・ OpenAI が提供している ChatGPT の利用方法やアカウントの作成方法を紹介。
- 3. 具体的な使用例の紹介
  - ・ 杉山先生が ChatGPT を利用して作成したスライドやイラストの例を紹介。
  - ・ 質問に対する適切な回答のためのプロンプトの工夫について説明。

- 4. 質問と回答セッション
    - ・ 杉山先生が ChatGPT の使用に関する具体的な質問に答える。
    - ・ ChatGPT を使って文章やメールの添削、翻訳、プログラミング支援が可能であることを説明。
  - 5. 音楽生成 AI の話題
    - ・ 曾野偉鍊氏が音楽を作成したいという要望を述べ、杉山先生が音楽生成 AI の可能性について言及。
    - ・ 実際に ChatGPT を使用して童謡風の歌詞を生成する試みが行われる。
  - 6. AI の活用と未来の展望
    - ・ ChatGPT が今後どのように進化し、業務や日常生活にどのように役立つかについて議論。
    - ・ AI が経理業務やオペレーター業務を代行する未来の可能性についても触れられる。
  - 7. 会議の締めくくり
    - ・ 次回のヘルスケアミーティングの日程やテーマについての案内。
    - ・ 参加者全員に感謝の意を示し、会議を終了。
- この会議は主に ChatGPT の機能とその応用についての情報共有と議論が中心で、具体的な使用例や今後の可能性について深く掘り下げられました。

（報告：古市貴暢・医療法人社団明恵会 古市歯科医院）



オンラインサロン紹介

○ 2024年8月20日（火）20:30～ 「たまにはテレビを観てみようか」

ワイドショー、バラエティー、週刊誌に出てくる新しい診療方法の紹介、従来医療の危険性、怪しい民間療法、度重なる医療事故… 古今、マスメディアは国民の健康向上のためと称して、医療をネタに使ってきました。それは「嘘、大げさ、紛らわしい」ものを多く含むため、専門分野の人からしたら見戯に等しいようなものばかりですが、時として真理に迫るものもあります。

毎日、医院に来られる患者さんはそのような情報の一方通行のなかから取捨選択されます。我々医療従事者は、患者さんを正しく導くために、マスメディアにあふれている情報を正しく認識する必要があります。

今回のオンラインサロンで、今、世間で騒がれている歯科の情報についてあらためて整理して、みなさんでお話ししてみませんか？

口腔内規格写真 Perfect Master



いつでも・どこでも！  
一人でも・グループでも！  
自分のスタイルで学びが得られる！



講師：落合真理子（歯科衛生士）

- 撮影ポジションについて（1本）
- 配信 機材解説（1本）
- 撮影部位ごと解説（11本）
  - 正面、右下舌側、右上口蓋側、左下舌側、左上口蓋側、右側方、左側方、上顎前歯口蓋側、上顎咬合面、下顎前歯舌側、下顎咬合面
- 12枚法撮影のながれ（1本）

【Vimeo】とは…  
日本ヘルスケア歯科学会のオンデマンド受講では、Vimeo（ヴィメオ）という動画配信サービスを使用しております。受講される方は、お手数ですが『Vimeoの無料ユーザー登録』をお願いいたします。レンタル時のみ、料金が発生します。お支払いはペイパル・クレジットカードをご用ください。

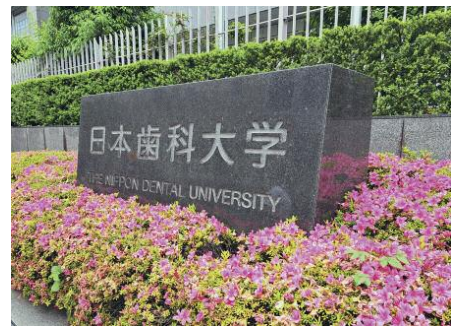
- 対象：会員・非会員問わずヘルスケア歯科診療を学びたい方
- 受講料：シーズンレンタル（1年間見放題）10,000円

\*詳細はニュースレター（Vol.27 no.1）に同封のパンフレットまたはホームページをご覧ください。

# ヘルスケア フォーラム

## 東京ワンデーセミナー 2024+(プラス)

2024年5月19日(日) 日本歯科大学東京キャンパス



### 開催報告



丸山修平 (深谷市開業)

5月19日(日)、日本歯科大学を会場にして東京ワンデーセミナーを開催しました。当初の定員は100名でしたが、それを上回る120名の方々に参加いただきました。本セミナーはヘルスケア歯科診療を知ってもらうことを目的とした一日のセミナーです。

講師として順に私(丸山修平)、藪下雅樹さん、杉山修平さん、認定歯科衛生士の伊平泰子さんが登壇し、それぞれの立場や視点からヘルスケア歯科診療の意義や、やりがいについて熱く語りました。参加者は、北は北海道から南は熊本まで全国各地から集まり、会員だけではなく、非会員の歯科医師、歯科衛生士、歯科医療従事者の方も多く参加されました。



質疑応答のセッションでは多くの質問が寄せられ、講義内容への関心の高さが伺えました。また、当日は座席近くの人同士でディスカッションを行う時間を設けました。一日の講義を通じて感じたことやヘルスケア歯科診療へのモチベーションを高める場にもなったと思います。

さらに、今回は「+(プラス)」と題し、学生や研修医にも広く参加を呼びかけました。約10名ほどの参加があり、若い世代がヘルスケア歯科診療に触れるいい機会になったと思います。この経験を通じて、今後の目指す診療スタイルにヘル

スケア診療を取り入れてもらえればと期待しています。

セミナー全体を通して、参加者はヘルスケア歯科診療の重要性や実践の意義を深く理解し、今後の診療活動に向けて新たな意欲を持ってもらえたら幸いです。このようなイベントを通じて、ヘルスケア歯科診療の普及と実践がさらに進むことを願っています。

最後に今回の開催に際し、たいへんご尽力いただきました日本歯科大学の名生幸恵先生(特別学術会員)に感謝申し上げます。



### 参加報告

ヘルスケア歯科診療が健康を守ることにどれだけ効果的か、ヘルスケア歯科診療の実践がどんな医院の未来を作るのか、社会に影響するのか。

院長目線、勤務医目線、歯科衛生士目線でのヘルスケアの価値について、といった要点に沿って、各演者がまだヘルスケア歯科診療を知らない人からすでに実践している人にむけて講演さ

れました。

ヘルスケア歯科診療は、「規格性のある資料採得」「患者との情報共有」「長期的な経過観察」などを行う歯科診療の基礎となります。そのためヘルスケア診療は一人では行えず、スタッフと目標や方向性を共有して実践できます。今回、若手スタッフも一緒に参加し、今までは医院の方針に合わせて診療し



ていたことが、ヘルスケアの裏づけに基づいた方針であることを理解でき、自分たちの診療が間違っていないとみんなで確認することができました。

今後ともヘルスケア歯科診療を続け、セミナーで自分たちを振り返るためにも参加していきたいと思いました。

名雪卓郎（千ヶ崎歯科医院）



5月19日、東京ワンデーセミナーに診療所のみんなで参加しました。

遠い所では北海道や九州から参加された方もあり、定員をはるかに超える参加者で講堂の席がいっぱい埋まり、ヘルスケア歯科診療に対する関心の高さを感じました。参加者は歯科衛生士をはじめとするデンタルスタッフが大半で、ヘルスケアセミナーらしさがあらわれていました。高橋啓代表の挨拶から始まり午前の部は丸山修平さん、昼食をはさみ午後からは藪下雅樹さん、杉山修平さん、最後に伊平泰子さんが登壇されました。

演者それぞれ、診療所の規模や設備、地域が違うので、自院と照らし合わせて共通する点や参考になる点をたくさん見い出せる充実した内容だったと思います。なにより、演者のみなさん全員が患者一人ひとりに寄り添い、日々の臨床を楽しんでいることが一番の刺激になりました。みなさんのその姿勢を見習い、明日の診療に生かしたいです。

新井康之（若井歯科医院）



今回私は、日本歯科大学で行われた「東京ワンデーセミナー 2024+」を受講しました。歯科医師目線、歯科衛生士目線で色んな方の貴重なお話を聞いて、

時間が経つのがとても早かったです。

まずヘルスケアって何だろう？ 何をするんだろう？ 予防が大事なのはわかるけど具体的にどうすればいいのだろう？ そう疑問を抱き参加しました。学生卒で参加したので現役の先生や歯科衛生士さんと一緒に参加しても大丈夫かな？ 理解できるかな？ と、とても不安でしたが暖かい雰囲気でも楽しく聞けました。

“ヘルスケア”っておしゃやかな感じで最近できた学会かと思っていたら25年もあると知り驚きました。

今回お話を聞き、歯科衛生士の学生として将来どのようなかたちで患者さんと向きあえばいいのか、どのような行動をすればいいのか、曖昧なイメージでしかなかったのですが少しくリアになりました。さまざまな症例を見て、病気を理解し、患者さんにどのように

説明するのか。また院長やスタッフ間でどのように共有していくか具体的に知ることができました。また記録の大切さをあらためて感じました。

数年、数十年後にも活かせるようにしたい。またこれからの社会や時代の流れ、様々な考え方に柔軟に対応し、絶え間なく勉強したいです。

患者さんに自分の知識や考えを押しつけず、お互い無理なく継続する。将来的に、“痛みのない治療”ではなく、“痛みが出る前に予防を！”目指していきたいです。この1日がとてもいい経験になりました。未来の歯科衛生士像が具体的になった気がします。

末筆ではございますがこのような機会をくださった山田美穂先生に感謝申し上げます。ありがとうございました。

安田葉子

（太陽歯科衛生士専門学校 第2学年）



### 大阪ワンデーセミナー 2024 —東京から大阪へ 大切なバトンを繋ぐ—

先日、東京ワンデーへ参加してきました。会場は満席で『大盛況』そのものでした。とても素晴らしかったです。このバトンをしっかり引き継ぎこの秋、大阪でワンデーセミナーを開催します。大阪ワンデーでは『人生100年時代 チームで取り組むヘルスケア歯科診療！』をテーマに掲げ、様々な年代や経験を持つ歯科医院が一堂に会し、ともに学び合う貴重な機会となることを目指しています。また、これまで関西で精力的に活動してきた「関西ヘルスケア談話会（公認団体）」の歩みを振り返りつつ、多様化する現代におけるヘルスケア診療の変遷と今後について語らう場を設けました。

ヘルスケア診療は単なる治療ではなく、患者一人ひとりの健康を包括的に支えることが求められます。このセミナーを通して、ヘルスケア診療の本当の価値をみんな再確認できる場にしたいと考えています。

ぜひ、診療所みんな参加し、関西のヘルスケア熱風をスタッフ全員で感じてください！

本多 毅（神戸市開業）

※開催日時・詳細については別途フライヤーなどをご覧ください。

## 公認団体：兵庫ヘルス主催 Drとスタッフがいっしょに参加できる兵庫ヘルスセミナー

2024年5月19日（日） 神戸市産業振興センター

### 兵庫ヘルスセミナーを終えて



秋山廣輔（明石市開業）

2024年5月19日（日）に神戸市産業振興センターにて、兵庫ヘルスセミナー2024が開催されました。このセミナーは関西圏内における歯科医院の院長だけでなく、日々ともに診療に携わる歯科衛生士、歯科助手、受付などのデンタルスタッフが「一緒に参加してヘルスケアを学ぼう」というコンセプトのもと開催されました。あいにくの雨天ではありましたが、歯科医師、デンタルスタッフともに会場収容人数いっぱいの満員御礼でのスタートとなりました。

1人目の講師に杉山歯科医院（八千代市）の杉山精一さんをお迎えし、「ヘルスケア歯科医院で取り組むカリエスマネジ

メント」についてご講演いただきました。講演では「カリエスマネジメントの目的は健全歯質の保存」として、杉山さんの長期にわたる症例を交えながら、切削、補綴治療介入が多いほど初発う蝕以外の治療発生回数が多いことをデータで示され、いかに切削治療介入をしないように長期のメンテナンスを通してカリエスマネジメントをすることが大切かをお話しされました。また、カリエスマネジメントをするうえで評価項目としてのICDASやX線コードXRについて、さらにはカリエスアセスメントのツールとしてCRASPについて実際の症例を交えながらお話しされました。

2人目の講師にたるみ歯科クリニック（宝塚市）の阪下卓さんをお迎えし、「たのむぜ！小児歯科！」という講演名で「小児歯科診療とは健全な永久歯を育成すること」と熱く語られました。そのためにはメンテナンスを通して問題点の早期発見・長期管理が不可欠であり、メンテナンスなくして小児歯科診療は成立しないとお話しされました。長期メンテナンスは成人患者だけに対するもので



はなく、小児のステージから必要とされており、「時間軸で患者を診る」というヘルスケア型診療の根幹をあらためて学ぶことができました。

最後に大西歯科（神戸市）の藤木省三さんにヘルスケア診療の目標（ゴール）とは、亡くなる直前まで口から食事が摂れることを達成すること、「できる限り自分の歯で快適な人生を過ごしていただく」ことであると講演していただきました。

小児期からメンテナンスを通してカリエスマネジメントを行い、成人期からは歯周治療も加えて管理していくことが必要であり、都度データを取りながら、評価し、改善を繰り返すことが大切であると述べられました。また、確実に歯周治療を達成するTipsとして超音波スケーラーと手用スケーラーを効果的に組み合わせたUP-SRPテクニック～ヘルスケア型低侵襲SRP～について熱く語られました。

全体を通して「Drとスタッフがいっしょに参加できる兵庫ヘルスセミナー」にこれだけ多くの方々に参加して下さったのは、メンテナンスをするうえでのマネジメントを院長・スタッフともに歯科医院全体で取り組もうという関心の表れであると感じました。



### □ Webセミナー

2024年7月17日（水）・8月21日（水）・各回20:00～  
パネリスト：渡辺勝  
コミュニケーションセミナー：プレミーティング in オンライン  
対象：歯科医療従事者ならどなたでも  
参加費：無料・要登録 定員：100名

### □ 新オンラインサロン（無料・登録不要） 毎月第2火曜日

2024年8月20日（火）※お盆期間のため第3火曜日に変更  
たまにはテレビを観てみようか  
2024年9月10日（火）  
フォーラム欠損：公開ミーティング  
2024年10月8日（火）  
ヘルスケアミーティング前夜祭

## ウェビナー告知板

マー君の  
enjoy my life

2020年2月末(65歳)で開業38年目の河野歯科を廃業して、毎日が日曜日の生活を過ごしています。なかなかいいもんですよ。

Vol.14 無職の年金生活者になりました!!

by 河野正清



スケルトン(がらんどう)になった河野歯科医院

結論から先に言うと無職になりました。2020年2月末(65歳)で開業38年目の河野歯科医院を学会員の歯科医師に事業継承して、私自身は診療所を設備・患者さん・スタッフ共々居抜きで不動産賃貸借契約を締結し、不動産賃貸業を営んでいました。賃貸契約は2020年3月から2年毎に契約更新する形式となっていました。私もそうでしたしみなさんの大多数もそうでしょうが、一度借金をして診療所を開設すると余程の事情がない限りは20年、30年と継続するものと思い込んでいました。ところが2023年10月になんの前触れもなく突然に2024年2月末をもって賃貸契約を解除するとの通告を受けました。さて、どうしたものか、歯

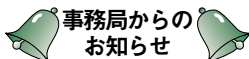
科医院として再び居抜きで賃借してもらえないか? 数人の知人に相談しましたがそうそう都合よく事は運ばず、賃貸借契約通りに医療器械・設備一式はすべて撤去されてスケルトン状態で返却されました。

また、私のときから継続して勤務していたスタッフは全員解雇、患者さんたちはかかりつけ歯科医院を失いました。結果からみると私の事業継承は4年後に大失敗となってしまいました。

スケルトンのテナントは賃借者がいないと毎月10万円の赤字(手出し)となります。不動産屋さんと相談しましたが、歯科医院経営の経験だけで不動産事業に関してと素人の私には、考えれば考える程不安材料しかありません

でした。そんなとき、電話が掛かってきて「お手持ちの不動産を売却しませんか?」、渡りに船とばかりに売却して厄介者を手放すことができました。めでたく(?)不動産賃貸業を廃業して無職となりました。

毎月の生活資金を失ったのでまだ受給していなかった国民年金の繰り下げ受給申請を行って、これまためでたく(?)年金生活者となりました。無職の年金生活者、心理的には物凄く抵抗感がありますが事実ですし、今年70歳になる老人? 高齢者なので潔く受け入れることにします。



オピニオンメンバー会議 (第7期 第4回)

2024年11月17日(日) 10:00 ~ AP新橋(東京)とZoomオンライン

今後の予定 9月末頃 お知らせと出欠ハガキの送付 / 10月末頃 議案書送付

認証ミーティング (第21回) オピニオンメンバー会議併催

2024年11月17日(日) 午後

会場: AP新橋(東京) & オンライン (Zoom)

会場はAP新橋(東京)にて行います。なんらかの不測の事態の場合、一部オンライン参加となる可能性があります。会員は、どなたでも視聴が可能です。視聴ご希望の方は、学会ホームページよりお申込みください。

認証ミーティングは、認証診療所の実態が総括的に理解できるまたとないチャンスです。視聴を申し込まれた方は、後日YouTubeでアーカイブが視聴可能です。

■ 認証審査エントリー診療所

ワコ歯科・矯正歯科クリニック(神奈川県)

はら歯科クリニック(福岡県)

医)恒誠会 ミライノデンタルクリニック(兵庫県)

■ 外部審査員 未定

※詳細は次号ニュースレターにてお知らせします。

■ 視聴方法(無料)

会場参加(東京)

オンライン (Zoom ウェビナー)

申し込み: 9月末頃より受付開始

2024年10月13-14日(日・月祝) 13日12:30~18:15 14日9:15~15:15(予定)

一橋大学一橋講堂+中会議室(東京・千代田区)・一部オンライン(Zoom ウェビナー)

**企画趣旨** 歯周病の治療とメンテナンスを確実にできるようになることはヘルスケア歯科診療には不可欠であり、避けて通れない道であると同時に、診療所にヘルスケア歯科診療を定着させる近道でもあります。本学会では診療のスタイルを1つのかたちに規定することを避け、多様性を受け入れてきましたが、基礎的な部分に関しては目標となるロールモデルが必要です。今回は、会の発足当時から繰り返しヘルスケア診療を発信し、

また自らも常に成長し続けている藤木省三さんの診療所、大西歯科で実践されている歯周治療を目標として学び、それをもとに今何をすべきかみんなで考えましょう。

ヘルスケア診療を知ったばかりで、どこから手をつければいいのかわからない人も、一度挫折して再チャレンジを躊躇している人も、頑張っ取り組んでいるのになぜか成果が出ない人も必ず答えやヒントが見つかるはずです。

### ● 1日目 歯周基本治療からはじまるヘルスケア歯科診療 12:30~18:15(予定)

趣旨説明: 千草隆治

基調講演: 藤木省三

X線撮影について: 滝沢江太郎

口腔内規格写真: 大本幸加

歯周組織検査: 志摩裕美

院長先生の役割 ヘルスケア診療のためのチーム作り: 野村朱美

グループワーク

質疑応答・総括



### ● 2日目 あっちもこっちもヘルスケア 9:15~15:15(予定) 午前中は選べる3コマ

	メイン講堂	会議室 A or B	
午前①	ホームデンティスト・プロフェッショナル番外編 岡 賢二, 藤木省三	ヘルスケア診療 きほんのき 長期勤務スタッフからの話 たかはし歯科	認定歯科衛生士200人突破記念! ヘルスケアDHの力で 全国の患者さんを健康に! 私もあなたもヘルスケアの大事な仲間! 私たちのネットワークすごいです!
午前②	ヘルスケア歯科衛生士から症例発表を中心に 増永初音・濱田佳穂 大塚杏奈・渡辺洋子	ヘルスケア歯科診療の壁 うちの医院はなぜうまくいかないのか? 斉藤 仁・高澤淳仁・林 浩司	Dx for health care ヘルスケア歯科医院とDx 安岡大介・中本知之・伊東佑記
午後	低侵襲で効果的なUP-SRPテクニックとは UltraSonic Precision SRP Technique 藤木省三・野村朱美	10/13 懇親会(会場参加のみ) 会費: 6,000円/1人 19:00~	
		10/13-14 法人展示 スタンプラリー 今年も開催! ポスター発表 同時開催!	

※オンラインの方は講堂演目のみ視聴可

### ● ポスター発表 募集中!

カテゴリー1

ペリオ症例発表

カテゴリー2

ヘルスケア歯科診療のことならなんでも(自院の取り組みや症例発表など)

演題について: 発表申請方法

ポスター発表を予定する方は、件名を「HCM2024 ポスター発表」として事務局宛に、①演題と②発表者名をメールでご連絡ください。筆頭発表者は会員に限ります。筆頭発表者名で申込みください。

その他

ポスター発表は、2日目の決まった時間に交流時間を設けます。発表者はなるべく会場にご参加ください。

ポスターサイズ、抄録

サイズ: 幅90x縦180cm以内(サイズご注意ください)  
詳細については、決まり次第ご案内します。

申込み締切: 2024年7月31日

### 参加費2日間(会場参加1名/オンライン1名)

	会員	非会員
歯科医師	17,000円	20,000円
スタッフ/その他	10,000円	13,000円
学生・研修医	無料(要登録・要証明書)	
懇親会(要申込み 会場参加のみ)		6,000円
2日目お弁当(要申込み 会場参加のみ)		1,000円

○ オンライン (Zoomの方)

オンライン参加の場合も1人1アカウントが必要です。アーカイブ配信はありません。なお、配信の録画はご遠慮ください。

○ 会場参加の方

当日体調のすぐれない方は来場をご遠慮ください。マスクの着用は任意です。託児所サービスはありません。

○ ヘルス(学会通貨)での支払い可能です。

(歯科医師20ヘルス, スタッフ10ヘルス)

ご希望の場合は、事務局までお問い合わせください。

※事前キャンセルは10月4日までです。手数料を差し引いた参加費を返金します。お問い合わせは10月11日17時まで。それ以降は対応できませんのでご了承ください。

受付開始

7月8日(月)

学会ホームページより

